



● **BIM / CIM** を活用した仕事の変革への取組
沖縄総合事務局 南部国道事務所

仕事の紹介 沖縄総合事務局 南部国道事務所

南部国道事務所は、県人口の約8割が集中する沖縄本島の中南部地域において、国道58号を代表とする国道の管理・改築を実施しています。日々、安全で円滑・快適な道路交通を確保し、地域住民の生活の安定・向上、産業の振興発展を図るため、仕事を進めています。

Message



南部国道事務所では、車社会の沖縄を支えている道路にかかわる仕事ができます。特に国の立場でかかわる道の仕事は、規模も大きく、交通量も多いので重要性を感じるとともに、やりがいを感じる機会も多いです。ぜひ、みなさんも沖縄県民の足を支えるお仕事をしてみませんか。

ナガヤマ スグル
永山 勝

管理第一課 管理係 係員

BIM/CIM活用による仕事の変革への取組

建設業界は、データ通信やAIといった技術の躍進を背景に、デジタル技術による業務や組織、働き方の抜本的な変革が求められています。

インフラ分野ではインフラDX（デジタルトランスフォーメーション）を柱にこの変革を進めています。

インフラDXを進めるのに、土木分野では生産性革命プロジェクトの一つであるi-Constructionで培ってきた**BIM/CIM**を利活用して、3次元モデルのデジタル化による情報の統合・共有化により、設計から工事、検査、維持管理までの一連となった生産管理システムの効率化・高度化を図り、土木分野での仕事全体の進め方の変革を行っています。

- ・BIM（ビム）とは、ビルディング・インフォメーション・モデリングの略称で建築分野で進められている建築情報の3次元モデル化の推進のこと。
- ・CIM（シム）とはコンストラクション インフォメーション モデリング/マネージメントの略語で、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ること。

南部国道事務所は、デジタル技術の活用への取組をリードする、インフラDX推進モデル事務所として、全国の10事務所の内の1つに選ばれています。「小禄道路」をモデル事業として**3D統合モデル**をつくり、**BIM/CIM**を活用した変革への取組を進めています。

●**小禄道路**: 周りの地形や構造・基礎、道路などを**3D化**した**統合モデル**をつくり構造や情報を統合・共有化



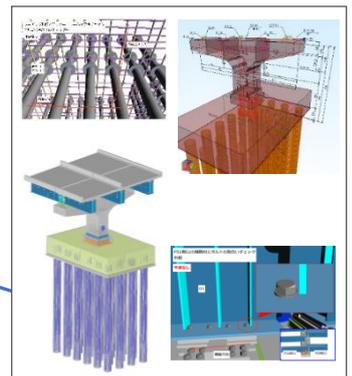
施工ステップモデル



走行シミュレーション



3D統合モデル



詳細な構造モデル